

講習会【がん患者における摂食・嚥下リハビリテーション】

アンケート結果

日 時 :平成 26 年 1 月 11 日(土)

場 所 :東京歯科大学水道橋本館 13 階

アンケート回収枚数:29 枚 参加者 :33 名

I.性別

男	10
女	17

II.年齢

10～20 代	7
30 代	12
40 代	4
50 代	5
60 代以上	1

III.職業

大学院生	5
研修医・専門医	4
医師	0
歯科医師	9
大学教員	0
看護師	0
薬剤師	0
大学生	0
その他	12

IV.どの様な方法で知りましたか？

ポスター	10
大学メール	11
がんプロ HP	3
知人紹介	4
その他	0

V.本講演会の感想をお聞かせ下さい。

大変満足	5
満足	12
普通	8
不満足	4
大変不満足	0

V.何か理由がありましたら。

- ◇ がん患者のリハ内容とは言えない。
- ◇ もう少し1つ1つの講義に時間をとってゆっくり説明して欲しい。
- ◇ 5つの演題のうち4つが「口腔がん患者における」との内容であるとアナウンスされていたが、実際には1つの内容で示された2病例(口腔がん術後)以外は良く聞く「摂食・嚥下リハビリテーション」の内容であったため。

VI.「がん患者における摂食・嚥下リハビリテーション」は理解出来ましたか？

良く理解	10
理解出来た	15
どちらともいえない	2
余り理解出来ない	2
全く理解出来ない	0

VI.「余り理解出来ない」の方々の理由をお聞かせ下さい。

- ◇ 教科書の内容を聞きに来たわけではない。
- ◇ 補綴の話は歯科関係者以外には難しすぎるのではないかと思います。どのような方でも分かる様に話しないと他職種の方には難しいのでは？(装置どのように入るか？ティッシュコンの意味等)

VII.「がん患者における摂食・嚥下リハビリテーション」に関する感想をお書き下さい。

- ◇ す補綴対応など実例を多く見せて頂きたいと思います。
- ◇ 在学時の講義内容と類似しており、もう少し詳しく聞きたい部分があった。
- ◇ 普段先生方がされている検査が何の為にに行われているのかが良くわかり、患者さんに聞かれた時にも説明出来る様になるとと思います。ありがとうございます。
- ◇ 分かりやすい説明でとてもよくわかりました。ユニバーサルフード以外に患者のために食事のレシピ等がわかると術後のメンテナンス時に進める事が出来るので有難いです。食のQOLも大事ですね。
- ◇ PAP、PLP等の補綴に重点をおいたセミナーを希望します。

- ◇ 具体的な病例を多くして欲しい。うまくいったもの、いかなかったものもご紹介頂ければ幸いです。
- ◇ 補綴以外の内容はよく知っている内容だった。
- ◇ Basicな内容ばかりで退屈だった。他職種医療の時代なのでSTやPTさん達の講演もあった方が良かった。次回はadvanceセミナーを希望します。
- ◇ 参考にさせていただきます。ありがとうございます。
- ◇ もう少し突っ込んだ内容について知りたい方が多かったですかもしれません。次回よりの展開に期待します。まずは今日は基本的なことですのでOKでしょう。

VIII.本講演会に参加して頂いた理由が何ですか？

講師が良かった	1
自分自身に必要な	20
都合が良い	6
参加要請がある	2
その他	0

IX.今後の講演会を開催した場合参加したいと思いますか？

是非参加したい	12
参加したい	10
どちらともない	5
余り参加したくない	2
参加したくない	0

IX.「余り参加したくない」の方々の理由をお聞かせ下さい。

- ◇ 参考にならなかった。
- ◇ 「がん患者」とは「口腔がん患者」であったのか？次回は「がん患者」に特化した「摂食・嚥下リハ」の話が聞けるのか？
- ◇ 是非もう少し突っ込んだ内容にしましょう。どのようなテクニックが口腔がんの患者の場合に必要なものであるのか、一般的な事でお話して頂けると良いのではないかと思います。例えば、リハビリの方法についても、口腔がんのPCに特別に作られた方法ではないし、評価もそうです。すると今まで脳患者で行ってきた方法も転用してゆく。何か注意していくこととかコツの部分もあるかと思いますので、次回よりお願いします。

X. 今後がんプロフェッショナル養成基盤推進プランへの希望・ご意見下さい。

- ◇ 心理的な支え方(がんに対するもの 口腔がんの場合は顔面の形態変化に対するもの等) 病状が悪化、進行していくのでリハビリのあり方をどう考えたら良いか。
- ◇ 杉山先生のお話とても興味深く聞くことが出来ました。ありがとうございます。
- ◇ DH は麻薬のこと、患者の心理面等について良く分からないのでインテンシブコース等で学べるとありがたいです。
- ◇ より踏み込んだケアの方法、機能評価方法等の講義及び関連した実習等があれば参加したいと考えます。
- ◇ 今後、がんプロフェッショナル養成として更に詳しく口腔衛生についても合わせて講義希望致します。
- ◇ 毎年開催して頂きたいです。
- ◇ 御手数ですが、杉山先生より資料スライドを少し拡大して下さると幸いです。
- ◇ 口腔がんだけでなく広い医療における企画を口腔がんの内容と平行していくと良いです。口腔がんも大切ですがこればかりでなくプラン全体のニーズではないでしょうか？